現に第一回國際労働会議で決議された、九時間労働の実施、女工の産前産後の六週間休養、女工少年工の夜間使用禁止、の決議も枉屈潰は資本家の利益にならないといふ理由で葬ってしまったではないか。

僕達のことは僕達でやる国際労働会議は労働者のための会議ではなくして資本家のための資本家会議なのだ。労働者の団結の力が強大になってゆくのを知った資本家と政府のもがきの産んだ労働者ゴマカシ会議なのだ。そんな会議は彼等に勝手にやらせておけばいい。

そんな会議は僕達は知らん顔をして居ればいい。

僕達労働者の解放は僕達自身がやる仕事だ。政府にたよっても駄目だ資本家と協議しても駄目だ。あんなゴマカシに乗って僕達の階級意識を鈍らせてはいけない。そんな馬鹿なマネをする暇に僕達のために益々団結の力を強大にして行けばいいのだ

もし会社が投票を強いたら　昨年会社から投票を強いられた僕達の兄弟は、加藤清正だの桃太郎だの石川五右衛門だのと書いた。もし今年も会社が投票を強いたならばそんな事すらも書いてはいけない。投票用紙を渡したらつっかへしてやれ。捨てゝやれ。投票する事は僕達が僕達自身を冒涜するものだ。

全兄弟諸君！国際資本家会議を根本的に否認せよ！そして僕達は僕達の力を信じて突進しやう

芝浦労働組合.

12.7.28
515

第五回國際勞働總會帝国代表其他出席者

政府側

代表委員	特命全権大使	安達峰一郎○
	國際労働理事會帝國政府代表	前田多門○
顧問	伯爵	柳澤保恵○
	社會局書記官	竹下豊次○
	警視廳技師	鈴木孔三
		石原清子
随員	大使館二等書記官	皆川錚彦○
	愛知縣理事官	山本理一
	内務事務官	川西實三○
	社會局事務官	赤松小寅
	社會局技師	色川三男
	外務省嘱託	田中盛枚

委員附